



国見ヶ丘・吉成・南吉成 地域の魅力再発見

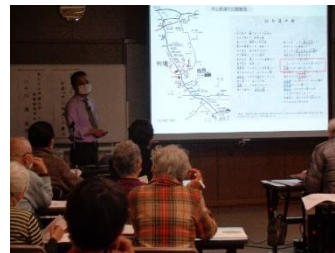
【背景・ねらい】

●吉成地域は 80 年代に宅地造成化が進み、90 年代以降は商業化が加速しました。以前からこの地域にお住まいの方たちは、どのような思いでこの変遷を見守ってきたのでしょうか。当時の面影を残す貴重な資源を知り、見守り、そして広めていく目的で本事業を企画しました。

●本事業は学習を継続する中で、自分たちの住んでいる街への郷土愛を醸成し、学習意欲を喚起するねらいもあります。複数年でじっくり取り組み、地域に学習の成果を報告する機会を設けることで、地域ぐるみで街の活性化を図ります。

【成果・効果】

- 本事業より自主ボランティア団体「くよみ郷土研究会」が発足し、仙台青陵中等教育学校の学校林「青陵の森」の整備・観察、地域の歴史資源「中山街道」「芋沢街道」の調査活動を行いました。
- 定期的に会誌「くよみ通信」を発行し、活動内容の報告・イベントの広報を行い、会の活動を積極的に地域に発信しました。
- 「NPO 法人珀杜」と合同の自然観察勉強会で森の植物について学習しました。
- 沖縄のガイド団体「八重瀬町ガイドの会」とオンラインで情報交換を行い、地域の魅力を伝える手法について学びました。
- 仙台青陵中等教育学校学校林「青陵の森」の整備・観察を行い、森の魅力をまとめた観察ノートを作成し、地域の小学校へ寄贈しました。



【事業参加者の声】

- 多団体との交流が出来て楽しく、今後の活動の参考になりました。
- 歴史と生活の今昔を団地の住民の方々にも実際に歩いて広める活動も考えていいのかなと思いました。

